

VI. アンケートからみる研修の成果

1. アンケート結果の概要

(1) 評価アンケート調査結果

アンケートは受講生全員を対象とし、研修成果の確認と今後のカリキュラムの検討・研修運営に役立てることを目的に実施した（76頁／アンケートの雛形）。主に各科目の理解度、研修の進行・運営、設備等に対する評価、研修の評価について、集計結果を取りまとめた。アンケートの回収率は、95%（受講者数128名、回答総数は122名*）。

*研修の一部を欠席した受講者がいるため、回答総数とアンケート各項目の回答者数とは異なる。

(2) 本研修のねらい・内容の理解度

アンケートは、1（理解できなかった）から5（理解できた）までの5段階評価で実施した。

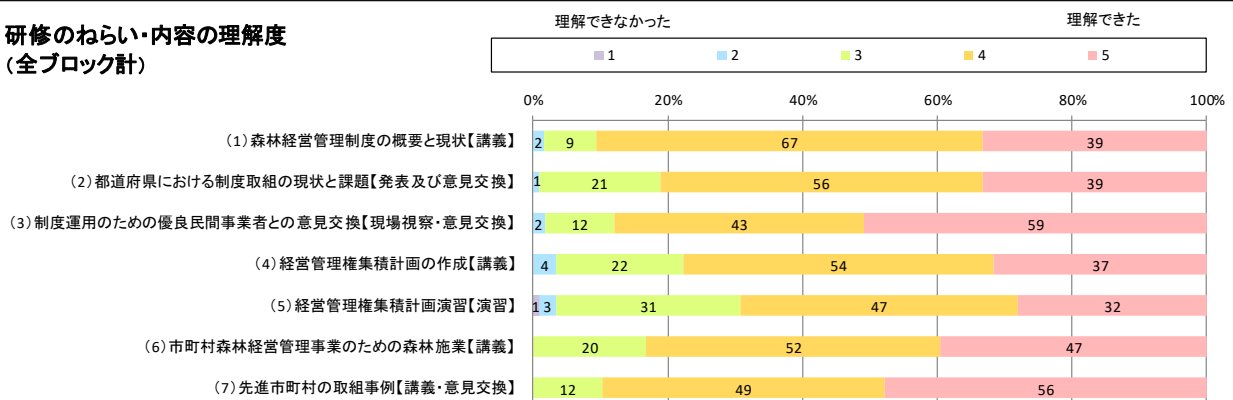
各講義の内容の理解度では4（おおむね理解できた）が最も多く、次いで5（理解できた）の評価で、受講生の理解度は高く、研修のねらいや目的に応じた成果が得られたと考えられる。

各コマの理解度5と4の割合は、69～91%と総じて高い結果となった。

研修のねらい・内容の理解度 (全ブロック計)

	理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】	0	2	9	68	39	4.2	118	91	33
(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】	0	1	21	57	39	4.1	118	81	33
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】	0	2	12	44	59	4.4	117	88	50
(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】	0	4	23	54	37	4.1	118	77	31
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】	1	3	32	47	32	3.9	115	69	28
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】	0	0	20	52	47	4.2	119	83	39
(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】	0	0	12	50	56	4.4	118	90	47

研修のねらい・内容の理解度 (全ブロック計)



「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】

初日に実施した「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】は、理解度5と4の割合が91%と最も高くなった。「事例と質問に対する回答は参考になった」、「疑問な部分が解決できた」といった制度の不明点が解消されたというコメントと、「復習として有意義だった」、「制度内容の再確認ができた」といった制度について再確認できたというコメントが見られた。このことは、受講生が事前課題として提出した、森林経営管理制度に係る全体的な質問や本制度に係る事務や経営管理権集積計画の記載内容など個別具体の事項についての質問等について、講義の中で回答したことや意見交換も交えながら講義を進めたことが、理解度評価の高さにつながった要因の一つと考えられる。

「都道府県における制度取組の現状と課題」【発表及び意見交換】

初日の2コマ目「都道府県における制度取組の現状と課題」【発表及び意見交換】は、理解度5と4の割合が81%となった。「他の県市町の進捗状況や抱える課題などが分かった」、「他県の取組例や各県の質疑応答が大変参考になった」、「細かい点まで情報収集できて良かった」などのコメントから、市町村を支援するための知見を広げ、応用力を養うという本講義のねらいに沿った講義であったと考えられる。

「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】

2日目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については50%と研修の講義の中で最も高い理解度となった。「管内の事業体を育成指導していく中でとても参考となった」、「優良民間事業者の新制度に対する意向も聞いて良かった」などのコメントから、制度に適合する民間事業者のイメージを掴むという講義目的にかなった講義となったことが伺える。また、「一貫施業での工夫、取り組みの経緯・意識を聞いて参考になった」、「作業工程の見直しや再造林の取組等、とても参考になった」などのコメントからは、優良民間事業者の実践事例を聞くことが最前線の現場の取組を知る機会ともなったようだ。

「経営管理権集積計画の作成」【講義】

2日目「経営管理権集積計画の作成」【講義】については、理解度5と4の割合が77%となった。「作成時に疑問に思った記入方法等を理解できた」、「計画作成の留意事項が再認識できた」、「計画作成の実務のヒントになった」という一方で、理解度3、2という低い評価を記した受講生からは「内容は理解できたが、市町村職員が理解できなければ制度を進められないと感じた」、「多くのパターンで試行を繰り返す必要があると感じた」、「難しく、経験が必要と感じた」のコメントが見られた。

「経営管理権集積計画演習」【演習】

2日目「経営管理権集積計画演習」【演習】については、理解度5と4の割合が69%、理解度の平均も3.9と研修の講義の中で最も低い数値となった。コメントには「自身で集積計画を作成し、他の方の演習を見ることで分かったことが多かった」、「各市町の計画が勉強になった」、「実際の作成指導に役立つ」といった記載が見られた。このことは受講生が事前課題を作成し、講義中に発表した模擬的な経営管理権集積計画について対して行った質疑、アドバイスが、受講生が抱える個別の不明事項の解消の一助になったと考えられる。

「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】

3日目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】については、理解度5と4の割合が83%となった。「森林施業の難しさを再確認した」、「広葉樹の天然更新の難しさを知った」等の

天然更新の難しさを改めて認識したというコメントや、「市町村管理の手法として広葉樹林化に必要な考え、手法を知ることができた」等の市町村自らが経営管理の進め方に言及するコメントも見られた。

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】

3日目「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が90%、5の割合については47%と高い理解度となった。コメントには、「協議会の設立、下流との連携が参考になった」「林地台帳の登記情報が大切、精度を上げる必要があると感じた」「意向調査実施の際のポイント等を伺って非常に参考になった」等が記載され、受講生が制度を推し進める上での具体的なイメージづくりの参考となったことが伺えた。

(3)全体評価

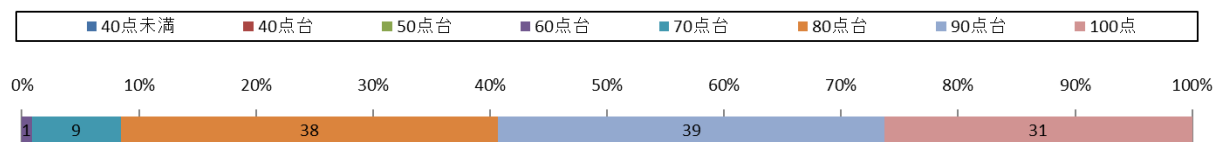
研修全体の評価については、100点満点での評価を実施した。

研修の評価は、平均点が100点満点中89点で、全体の9割が80点台以上をつけ、高評価と見て良いと考える。しかしながら「事前提出物が多く、業務に支障あった」、「他県と課題についてグループディスカッションする時間がもう少しほしい」、「集積計画の演習を拡充してほしい」という意見が寄せられ、カリキュラム内容と各コマの時間配分について検討・調整が必要である。

森林管理円滑化対策研修の評価(100点満点で記載)

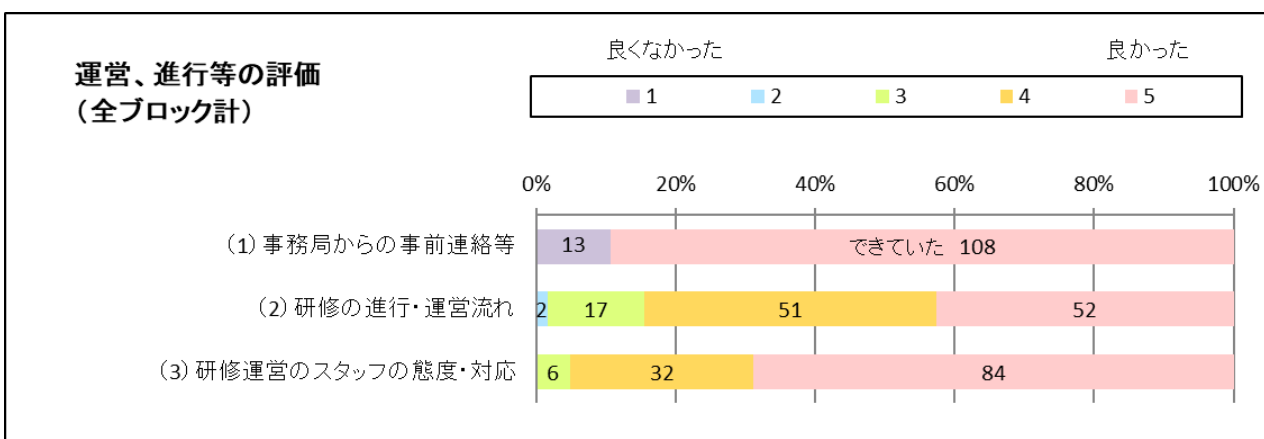
	北海道 東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
40点未満	0	0	0	0	0	0	0
40点台	0	0	0	0	0	0	0
50点台	0	0	0	0	0	0	0
60点台	0	0	1	0	0	0	0
70点台	0	3	1	0	1	3	1
80点台	9	5	7	3	4	4	6
90点台	6	4	7	7	3	5	7
100点	4	3	2	6	4	5	7
各ブロック平均点	88	86	86	93	89	88	90
全ブロックの平均点	89						

森林管理円滑化対策研修の評価



(4) 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

運営、進行等の評価 (全ブロック計)										
	理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)	
	1	2	3	4	5					
(1) 事務局からの事前連絡等				13	108	4.9	121	—	—	
(2) 研修の進行・運営流れ	0	2	17	51	52	4.3	122	84	43	
(3) 研修運営のスタッフの態度・対応	0	0	6	32	84	4.6	122	95	69	



研修の事前連絡

研修の事前連絡は、全回を通し、概ねできていたという評価であった。できていないという評価へのコメントは、「現地視察が無くなった旨の連絡が分かりにくかった」、「課題の数をいくつか用意するのか分かりにくいところがあった」等、2日目の現地視察の変更とそれに伴う会場の変更、事前課題に係る事項についての指摘であり、受講生への研修開催の周知方法等を改善していくことが必要である。

進行・運営の流れ

進行・運営の流れについては、5（良かった）と4（おおむね良かった）の評価が全体の84%となった。「運営側からも質問や補足があり、理解の役に立った」、「目的に合った運営となっていた」といったコメントの一方で、「全体的に時間不足。可能なら全ての講義に全県から意見させる時間がほしかった」、「概ね時間通りだったが、人数が多くて時間配分が難しかった」等のコメントが見られ、講義時間と質疑の時間配分についての検討・調整が必要である。

研修運営のスタッフの態度・対応

研修運営のスタッフの態度・対応については、5と4の評価が全体の95%となり、評価が非常に高かった。運営スタッフの丁寧な対応等が評価されたことが受講生のコメントからもうかがえた。

(5) 今後の必要なサポートや研修等について

今後、必要なサポートや研修等への要望については、全ブロックにおいて多くコメントが寄せられた。市町村担当者への研修の強化を望む記載が多く見られた。それ以外の要望等について、研修、講義内容、サポートに分けて次に記載する。

(研修)

- ・意向調査のやり方について特化した研修
- ・市町村の取り組み方や進行段階に応じた、各段階の研修
- ・行政書や法律に関する研修
- ・広葉樹林化、混交林化についての技術研修、事例研究、設計研修
- ・針広混交林化や人工林の広葉樹林と天然林の混交林化に関わる研修
- ・森林初心者（林業資格のない人）が理解しやすい研修
- ・制度の運用に当たって発生した課題や問題点等への対処事例、対処法についての研修
- ・制度運用後の定期的なQ & Aの研修
- ・立木評価に関する研修

(講義内容)

- ・制度の実際の運用方法
- ・制度の事例等のまとめ、内容等の紹介
- ・制度の進捗ごとの各自治体の取組状況の紹介
- ・制度運用でトラブル等があった県市町村の事例紹介
- ・各市町村の課題に対して解決方法等を話し合う等
- ・意欲と能力のある事業者の育成、後進市町への積極性を出してもらう方法
- ・意向調査手法についての講義
- ・意向調査や計画作成の模擬演習をその場で行う模擬演習
- ・意向調査の事例（成功・失敗・工夫すべき点等）
- ・意向調査の回答の利用方法
- ・所有者探索の方法
- ・経営管理権集積計画の実技演習、またはそれに対する指導
- ・現地のモデル地区を利用した例題による経営管理権集積計画の作成
- ・経営管理権集積計画のケーススタディ
- ・経営管理権集積計画の作成以降の手続き等
- ・経営管理権集積計画の作成から事業実施状況等の先進地の事例紹介
- ・森林整備以外の環境税の使い方、各県・各市町の先進事例、報告会等
- ・経営管理集積計画の演習・実地調査
- ・経営管理権集積計画作成以後のプランニングや配分計画に至るまでの演習
- ・集約化の実務を深めた内容の研修
- ・集積後の経営管理実施権の作成方法
- ・経営管理実施権を結んだ後の事務処理
- ・GISを使用した対象森林の絞り込み方の講義
- ・効率的な森林経営に関する技術習得
- ・事業を加速化していく施業の提案

(サポート)

- ・市町村事例の発表会（講演）等
- ・市町村が自ら管理する場合の事例を多く抱える自治体の考え方、体制を紹介する機会
- ・他県や他市町村の事例の情報提供
- ・制度運用で実際に集積～施業まで至った団体の講演
- ・全国の様々な取組事例等の集積及び情報発信（研修受講者へのフォローアップ）
- ・事業が進んでいく中で、良かった・悪かった点等の意見交換ができる場
- ・市町が関わる様々な状況の森林とその対応方法を検討する場
- ・全国的に共通作業となる部分の単価（歩掛）
- ・作成研修を企画する方の立場でのサポート
- ・業務で発生した課題や不明点にその都度対応するサポート体制
- ・簡単なQにも電話やメールで教えてくれる総合的なサポート
- ・森林環境譲与税の使途・判断基準に関する情報共有のためのオンライン会議
- ・森林環境譲与税を使った事業の内容（具体的な仕様書）
- ・各種様式（アンケート・結果等も含む）が盛り込まれた先進の実例集
- ・法律相談
- ・上層部への制度説明の機会

(6)その他、感想(研修の中で特に印象に残った講義)

印象に残った講義として、各ブロックともに実践者が講師となった「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】、「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】が多く上げられた。いずれも当事者からの直接の説明が受講生に講義内容を強く印象づけたようだ。また「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】についても印象に残った講義として各ブロックで上げられた。

研修全体を通じた感想として、「林野庁からの話は今後の業務を進める上で大変貴重であった」、「国の基本的見解、スタンスを掘り下げて聞く貴重な機会であった」等のコメントや、「他ブロックの事例、情報も可能な範囲で提供いただきたい」等のコメントが見られた。

Ⅶ. 研修の実施における課題と改善点

1. カリキュラムの実施方法

ア 「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」について

2日目の1コマ目に実施された本研修項目は、優良民間事業者の活動や取組について、説明を受けるとともに、現場視察を行った上で、質疑や意見交換を通じて優れた民間事業者の特徴を整理するというものである。

この研修内容の現場視察については、視察現場が研修会場から遠方とならざるを得ない場合があり、①移動時間が長くなること、②他の研修の研修時間に影響を与えることとなったことから、現場視察をやめて研修会場での民間事業者からの説明の中で現場の状況について説明を行うこととしたケースが7ブロックのうち3ブロック（北海道・東北、四国、九州）あったが、研修生から現場視察が必要であるとの指摘はなく、民間事業者からの写真やビデオや使った説明により、現場の状況についても理解を得られ、全く問題はなかった。

現場視察の実施については以下のような課題が考えられた。

①現場における民間事業者の特徴は現場に行かなければ分からないものではなく、写真やビデオを使うことで十分伝えることが可能であること

②当該民間事業者の特徴が必ずしも現場に現れているとも限らないこと

③限られた研修時間（15時間程度）の中で移動に2～3時間を使うことは、研修全体の研修効果に影響を与える可能性があること（移動のためのバスの中で有効な研修を行うことは困難）

④移動が長時間となる場合はその後の研修の研修時間に影響を与える場合があること

⑤移動時間が長くなることにより他の研修項目の時間調整を行うなどの対応が必要となり、研修内容にブロック間の差を生じさせる可能性があること

また、以下のような研修生のコメントがみられる。

・現場へ行く時間少しもったいない気がした。写真や動画で対応できたらもっと話す時間が増やせる。（関東）

このため、基本的に本研修項目については現場視察は行わず、現場情報を提供する必要がある場合には、写真やビデオによって講師である民間事業者より説明を行ってもらうことが適切と考えられる。

イ 「経営管理権集積計画演習」について

2日目の3コマ目に実施された本研修項目は、予め課題として作成し提出した模擬的な経営管理権集積計画について、作成するにあたって生じた疑問点や課題なども含めて研修生が発表を行った後、これに対する質疑や意見交換を行うものである。

この研修内容の模擬的な経営管理権集積計画についての発表については、研修生のうち実際に当該計画を作成する市町村所属の研修生、計画作成に関する周辺業務を受託する可能性のある森林組合や団体所属の研修生を中心に、可能な限り多くの研修生から課題の発表を行ってもらえる

ように進行を行ってきたところであり、場合によってはこのような対応に加え、予め課題として提出してもらった質問に対して林野庁が回答を行うこともあった。

しかしながら、研修生の発表の中には、発表時間が短時間で説明内容も乏しいというものがみられ、他の研修生からの質問も意見交換もないというものが散見された。このような状況は、研修生が経営管理権集積計画の作成方法を十分に理解していないため、作成した計画の内容について十分な説明ができないのではないかと考えられた。

このことについては、以下のような研修生のコメントがみられる。

- ・「勉強していない人の発表が多く、林野庁との質疑を増やした方がいい。」（北海道・東北）

手引きなどを十分読み込んで対応した研修生については説明内容も充実した発表が行われており、そのためそのような研修生にとっては手引きなどの読み込みの足りない（勉強していない）研修生の発表は研修に有効ではなく、林野庁との質疑に替えた方がいいとの意見であったと想定できる。

研修生の多くは事前課題として経営管理権集積計画の作成を体験したことで、経営管理権集積計画がどのようなものであるかを理解（理解の濃淡には違いがあると思われるが）したと思われ、またそのように評価している研修生が多いが、日常業務の中での事前課題の作成であり、十分な時間が確保できず、その結果十分な理解をしないままでの課題対応となった研修生もいたと思われる。

このため、研修の中で事前課題（模擬的な森林経営管理権集積計画）の発表は一部の研修生に留め、その後、復習という意味合いで同じ条件の下で経営管理権集積計画を作成するという演習を行うことも効果的かと思われる。このことに関しては、以下のような研修生のコメントがみられる。

- ・研修生発表ではなく、その場で各自計画書を作成してみる演習にしてほしかった。（北海道・東北）
- ・複数県でグループを作って、1，2課題を検討して発表というやり方がいいのでは？（関東）
- ・演習であるなら、実際にモデル的に同じ場所を研修生同士で作成してみても良いのではないかと思った。（四国）

森林管理円滑化対策研修・参考資料

平成31年度 市町村支援技術者養成事業委託事業
森林管理円滑化対策研修 評価アンケート調査票(●●ブロック)

今後の研修を効果的に実施するための参考資料としますので、率直なご意見・ご要望等をご記入下さい。
ボールペン等で濃くご記入くださいますようお願いいたします。

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No: _____

1 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？
 該当欄の数字に○を付け、理由等を【コメント】欄にご記入下さい。

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

※裏面に続きます。

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

該当欄の数字に○を付け、理由等をコメント欄にご記入下さい。

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

できていた	できていない
1	2

※「2」できていないとしたのは何故ですか。理由をご記入下さい。

【コメント】

(2) 研修の進行・運営の流れについて

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

【コメント】

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

【コメント】

III 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

(成果や達成感ではなく、研修の内容等全体を客観的に評価して下さい。)

【ブロック研修】

【減点した理由等】

____ / 100 点

ご協力ありがとうございました。

1日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

2日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

令和元年度 森林管理円滑化対策研修
最終日のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

1. 3日間の研修を終えて、新たに獲得したこと、得た知識・情報、ポイント等

2. 3日間の研修を終えて、新たに見えてきた課題等